

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです

2015年度後援会会長就任あいさつ



法政大学後援会会長 小林章

6月6日(土)に開催された法政大学後援会総会におきまして、2015年度会長に推挙され、1年間皆さまと共に学生・大学の支援の手伝いをする事となりました。伝統ある後援会の運営に携わることになり、その責任の重さを改めて痛感しております。

法政大学では昨年4月に田中優子新総長が就任し、9月にはスーパーグローバル大学創成支援に採択されるなど、「自由と進歩」の精神のもと新たな大学づくりに取り組んでいます。後援会は今後とも一層、大学のさまざまな取り組みへの支援を図っていきたくと考えています。

法政大学後援会は、戦後間もない1947年、荒廃した教育環境の立て直しを支援するために、学生の保護者が自ら立ち上げた組織です。創立68年を迎える現在、会員数は約2万7000人となり、首都圏および北海道から沖縄までの全国36支部で構成されています。

後援会活動の目的は「大学の教育方針に則り、大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」とあります。その趣旨に沿って、大学への備品寄贈、体育会やサークル活動への補助、資格試験講座への助成など、学生および大学への財政的支援活動を行っています。また、保護者の皆さま向けには「新入生父母の集い」や「父母懇談会」などの行事開催に加え、広報誌『HOSEI』や後援会ウェブサイトを通して各種情報を発信、提供しております。これらの活動は、すべて会員から選出された役員のパラソニア活動により支えられています。

このような他大学ではあまり類を見ない後援会活動の源泉は、子どもを思う純粋な親心だと思えます。法政大学後援会はこの心を大切に、「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、諸先輩方が築き、守り続けてきた理念を受け継ぎ、学生の学問と学生生活に対する満足度向上のために、学生と大学を支える一番の応援団であり続けたいと思っています。

本年度も引き続き、後援会活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会長退任にあたって



2014年度会長 池田隆

後援会会員の皆さまには、日頃から後援会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、2014年度後援会会長の任期を終え、無事次年度の役員に禪(たすき)をつなぐことができました。

2014年度は田中優子新総長の下、法政大学は新たなスタートを切り、スーパーグローバル大学へと歩み始めました。私たち後援会も、大学の改革に呼応して、大学・学生への支援をさらに充実したものにするために、従来の枠にとられずに、新しい取り組みにも積極的にチャレンジしてきました。しかしこれらはまだ緒に就いたばかりであり、今後の活動に期待したいと思えます。

この1年間、私自身後援会運営において、さまざまな課題や問題に直面し、悩み多き日々の連続でしたが、最も大事にしてきたものは、我が後援会が保護者自らの意思、自らの手で運営するという理念や原則であり、「子どもの母校は我が母校」という合言葉に象徴されるように、学生と大学にとって一番の応援団であり続けたいという思いに他なりません。先輩方が築いてこられた歴史と伝統をしっかり引き継ぐことが一番大事な役目と心がけてきました。

去る3月24日の学位授与式では、大学側の計らいで、4年前やむなく中止となった入学式の一部を再現していただき、私たち保護者にとつ

ても感動の卒業式でした。我が子の卒業を喜びつつ、私たちも後援会を卒業したいと思えます。後援会活動で巡り合った全国の多くの良き仲間、後援会活動にお力添えいただいたすべての方に感謝を込めまして、私の退任のあいさつといたします。ありがとうございました。

写真でみる池田会長の1年間



1 2014年6月7日(土)2014年度総会 市ヶ谷キャンパス薩埵ホールにて千葉前会長より禪を引き継ぎあいさつ
2 2014年11月8日(土)支部長会議 市ヶ谷キャンパス58年館
3 2014年11月8日(土)学部長・後援会懇談会 市ヶ谷キャンパス外濠校舎
4 2014年11月26日(水)総長学内理事・後援会懇談会 市ヶ谷キャンパス九段校舎
5 2015年1月31日(土)公認会計士合格者祝賀会 後援会賞授与 市ヶ谷キャンパス薩埵ホール
6 2015年3月24日(火)第133回学位授与式来賓あいさつ 日本武道館
7 2015年3月24日(火)外国人留学生・派遣留学生の卒業を祝う会 外国人留学生表彰 市ヶ谷キャンパススカイホール
8 2015年5月8日(金)期末監査 市ヶ谷キャンパス九段校舎
9 2015年6月6日(土)2015年度総会終了後、小林新会長に次を託し固く握手をかわす 市ヶ谷キャンパススカイホール前

■ 後援会ホームページのご案内
<http://www.hosei-koenkai.org/>
法政大学のホームページを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方」をクリックしていただいてもアクセスできます。ぜひ一度ご覧になってみてください。



■ 「携帯メール情報」の配信案内
法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、ラグビーや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人ひとりの力は小さくても、一致団結して盛り上げて行きましょう。配信ご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。 koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp



2015年度 法政大学後援会の主な年間行事

月日	曜日	行事	内容
4月3日	金	入学式	大学行事。日本武道館にて開催
5月16日	土	幹事会	後援会の役員会。決算案、予算案などを審議
6月6日	土	支部長会議	支部総会・父母懇談会の打ち合わせ
		総会	事業報告・決算報告、事業計画・予算案他を審議
		懇親会	大学主催の懇親会
7月~8月	土・日・祝	支部総会・父母懇談会・懇親会	詳細は本誌4月、5月号、後援会ホームページに掲載
10月11日	日	首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)	法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン・デザイン工・グローバル教養学部の1~3年の保護者対象
10月17日	土	首都圏父母懇談会(多摩キャンパス)	経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部の1~3年の父母・保証人対象。大学祭(多摩祭)と同日開催
10月16日	日	首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)	理工・生命科・情報科・工学部の1~3年の父母・保証人対象
11月7日	土	支部長会議	支部総会・父母懇談会の報告
		学部長・後援会懇談会	会員から寄せられた質問に学部長が回答
3月5日	土	幹事会	後援会の役員会。暫定予算などを審議
		後援会賞表彰	難関試験を突破した学生などを後援会が表彰
3月24日	木	学位授与式	大学行事。日本武道館にて開催
		外国人留学生表彰	国際交流に尽力した留学生を後援会が表彰

体育会応援 29 【ラグビー部】 親からのメッセージ



吉村行正（公太郎／経済学部）

4年生の長男、公太郎が所属するラグビー部は、大学選手権優勝3回、関東大学リーグ優勝13回を誇る名門です。全国各地の強豪高校から集まった80人ほどの部員の多くが、寮生活を送り、厳しく激しい練習に励んでいます。長男は、私がサッカーをしていた影響で、小学校まではサッカー少年でした。広島市にある崇徳中学校入学の際、ニュージランド人の先生の熱心な勧めでラグビーを始めました。中学でラグビーの楽しさを覚え、さらに崇徳高校でラグビーに熱中するようになりました。



試合前の校歌斉唱(写真右から2番目が学生)

大学生になったら大人ですから、私も長男に対して、あまり口出ししないようにしています。それでも、大学時代に応援できるのは4年間しかないと思えない、時間を潰すのは、時々、広島

から上京しています。法政大学ラグビー部は、激しいタックルやスピーディーな展開が持ち味で、子どもたちが母校の名誉を背負い、ひたむきに戦う姿にいつも勇気をもらいます。その闘志、潔さ、少々のけがをものともしない楽天性？たちです。

長男のプレーと表情を見ると、メールや手紙だけではみ取れなかった彼の思い、体調が伝わってきます。試合前後も忙しいので、ゆっくり話はできませんが、長男から「今日は見に来てくれてありがとう」と言われて握手するとき、「成長したな」とうれしく思う瞬間です。多くの諸先輩、仲間たちに寮生活で鍛えていただいたおかげとありがたく感じています。

ラグビーには、けがが付き物です。体重100キログラム近い選手同士が真正面からぶつかり、起き上がって



2013年試合

2014年試合(写真中央が学生)

るのが遅いときは、気が短気ではありません。2年生の冬には足首を手術し、つらいリハビリ期間がありました。自ら工夫し一人でもトレーニングを積んできたようです。いつも笑顔でおっとりしています。芯の強いファイターです。私は「仲間を大切に」ということだけは言っていました。長男はプレーの中で学んでいたようですが、ラグビー精神は「One for all, all for one

一人はみんなのために、みんなは一人のために」と言われます。集団競技は一人では勝てません。助け合い、苦しい中での献身があつてこそ勝利につながります。長男は主将をしています。チームは良い雰囲気でもらうことで、また、昨年10月のキャンパスツアーでは、法政大学後援会の広島県支部役員の皆さまにも、はるばる埼玉県熊谷市まで試合の応援に来ていただきました。流通経済大学に完勝し、「子ども



吉村行正・左、公太郎・右

母校は我が母校」と大いに盛り上がりました。

これから、夏の合宿を経て、秋の大学リーグ戦、冬の大学選手権が待っています。大学日本一を目指し戦っているラグビー部の試合応援に、ぜひともお越しくださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、谷崎重幸監督はじめコーチ、チームの皆さまに熱いご指導をいただき、大学関係、後援会の皆さまにご支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。



2014年秋の試合後、同級生の仲間たちと(当時3年、最前列右端が学生)

六大学野球リーグ戦応援記



幹事 中山麻理(蒼／人間環境学部)

5月9日(土)、対早稲田大学戦。曇天で暑くも寒くもなく、観戦するには絶好の天候でした。後援会応援日という事で、多くの後援会会員が1塁側応援席をオレンジ色に染めました。今季は現在6勝1敗勝ち点3を挙げリーグ首位。優勝が見えてくる大切な一戦です。しかも、今年は東京六大学野球90周年、法政大学野球部創部100周年の記念すべき年。応援にも熱が入ります。

法政の先発は熊谷君。投打ともに素晴らしい選手。緩急つけながらのピッチングでしたが、早稲田も負けられない試合だけに集中力のある攻守でした。出塁すれば応援席は総立ちで応援、得点すれば隣の方と肩を組んで校歌を歌い、共に喜びを分かち合。最後の最後まで応援団と一緒に精いっぱい応援しました。結果は2対8と惜敗しましたが、「辛抱と和合」体 負けない野球」のスローガンの通り、残りの試合



も粘り強く、最後まで諦めないプレーをしてもらえることでしょう。後援会会員の団結力も強くなった一日でした。

「宮城県支部新入生父母の集い」報告



宮城県支部長 久松恵美子(英雄／キャリアデザイン学部)

5月24日(日)、大学職員として卒業生・後援会連携室から小須田博司氏、人事課から石井泰地氏ご出席のもと、ホテルレオパレス仙台にて、平成27年度「新入生父母の集い」を開催しました。天候にも恵まれ、新入生父母24世帯32人の参加で和やかな会を催すことができました。

石井氏からは、事前にお伝えした質問事項を含めて、大学生活に関する説明をしていただきました。石井氏自身が法政大学の卒業生ということで、保護者の皆さまから「うちの息子もあんな風に立派になれるのかしら」といった声が出るほど、素晴らしいプレゼンテーションでした。その後の質疑応答も、留学についての質問などが活発に行われました。

昼食をとりながらの懇談会では、大学職員の方、後援会役員も加わりさまざまな会話の中で、「心配や不安もあるけど、法政大学に入学させて良かった」

た」という声もあり、大変うれしく思いました。



追記

5月22日(金)に、法政大学校友会主催の「江戸から見る未来(あした)の宮城」歴史に学ぶ震災からの復興」と題し、法政大学田中優子総長と宮城学院女子大学平川新(あらた)学長の一般公開対談が、地元テレビ局の取材も入りつつ開催され、後援会役員も参加、拝聴しました。復興に向けての貴重な事例を学ぶことができ、大変勉強になりました。